

宮城県被災文化財等保全連絡会議
公開シンポジウム

被災し



た文化財を



次世代に伝えるために



2017年**3月20日** 月 祝

13:30▶15:30 [開場 13:00より]

入場無料
事前申し込み不要

場所／東北歴史博物館 3階講堂

Program

- ① 開会挨拶 鷹野 光行 宮城県被災文化財等保全連絡会議代表、東北歴史博物館長
- ② 宮城県被災文化財等保全連絡会議とその活動
古川 一明 宮城県被災文化財等保全連絡会議事務局長、東北歴史博物館学芸部長
- ③ 基調講演 青柳 正規 東京大学名誉教授、前文化庁長官 演題「自然災害と文化遺産」
- ④ パネルディスカッション「宮城の被災文化財保全活動をふりかえる」
パネリスト 青柳 正規 東京大学名誉教授、前文化庁長官
三上 満良 宮城県美術館副館長
加藤 幸治 東北学院大学教授
幡野 寛治 気仙沼市教育委員会生涯学習課主幹兼文化振興係長
菅野 達雄 巨理町教育委員会生涯学習課文化財班長
コーディネーター 小谷 竜介 事務局、東北歴史博物館副主任研究員
- ⑤ 総括コメント 岡田 健 独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所保存科学研究センター長
- ⑥ 閉会挨拶 小畑 幸彦 多賀城市教育委員会教育長

主 催：宮城県被災文化財等保全連絡会議

事務局：東北歴史博物館

[JR東北本線国府多賀城駅となり] [三陸自動車道多賀城ICから車で約5分]

被災した

文化財を 次世代に伝えるために

宮城県被災文化財等保全連絡会議 公開シンポジウム

宮城県被災文化財等保全連絡会議は、東日本大震災文化財レスキュー事業の受け皿として、宮城県内の関係機関が行政や組織の枠組みを超えて被災文化財等の保管理を行うべく、平成23年10月21日に組織されました。以来これまで、被災資料の救出、保存、修理、保管環境の整備、返却等について各機関が協力・連携して活動を続けてまいりました。

震災後6年という節目を迎えた本年度末、連絡会議は所期一定の役割を終え、解散することとなりました。解散にあたり、これまでの宮城県の文化財レスキュー活動・成果を振り返り、できたこと、できなかったこと、よかったこと、悪かったことを整理・総括し、その経験を今後活かす道筋を考える場として、本シンポジウムを開催することといたしました。宮城県における被災文化財の救出・保全活動についてご理解いただければ幸いです。多数のご来場をお待ちしております。

基調講演講師・パネルディスカッションパネラー



青柳 正規

東京大学名誉教授・前文化庁長官
1944年、大連生まれ。東京大学文学部教授、国立西洋美術館館長、文化庁長官などを務める。東京大学名誉教授、日本学士院会員。古代ローマの美術・考古学を専攻。40年にわたってポンペイ、アグリジェント近郊、タルクィニア近郊、ソム・ヴェスヴィアーナで発掘調査に携わる。著書に『古代都市ローマ』、『皇帝たちの都ローマ』、『ローマ帝国』、『文化立国論』などがある。



東北歴史博物館

〒985-0862 宮城県多賀城市高崎1-22-1
TEL 022-368-0101(代) FAX 022-368-0103(代)
ホームページ <http://www.thm.pref.miyagi.jp/>
Eメールアドレス thm-service@pref.miyagi.jp
お問い合わせ専用番号 TEL 022-368-0106

- JR線をご利用の方**
 - JR東北本線（仙台駅から14分）「国府多賀城駅」となり
 - JR仙石線 「多賀城駅」下車 徒歩25分
 - お車をご利用の方**
 - 三陸自動車道「多賀城IC」から約5分
 - 国道4号線若竹インターから国道45号線を塩釜方向に8km（約25分）
 - 仙台港フェリーターミナルから15分
- 無料駐車場（191台・大型バス10台）

